高校物理学 解説

ほうじ茶

2025年9月22日

概要

本資料は、高校物理学の解説資料である。高校では、**微分積分を用いないで**物理基礎や物理を習う。その微分積分で得られるの結論を公式として諳記し、問題を解く。ただし、微分積分なしに物理の問題を解くことは本質的ではない。

本質を1から丁寧に解説し、体系的な理解につなげることが目的としている.以下に記載している**留意事項**をよく読んでから利用のこと.

目次

第Ⅰ部	物理学に必要な数学	2
1	スカラーとベクトル	2
1.1	ベクトルの加減法	3
1.2	単位ベクトル	3
1.3	ベクトルの成分表示	3

青文字をクリックすると、対応したページに遷移します.

留意事項

- 1. 色付き文字やハイライトは重要事項または強調箇所です.
- 2. 自身の好み(独断と偏見)で作成しているので、旧字体や座標を行列で記載している箇所があります.
- 3. 本資料の著作権は、CC BY-NC-SA 4.0 を適応します.

第一部

物理学に必要な数学

スカラーとベクトル

スカラーは1つの数であり、ベクトルは2つ以上の数を束ねたものである。そしてベクトルの 表現として**文字の上に矢印** \vec{x} を描いてベクトルを表現する.ただ,**非常に見づらく**なりやすいとい う欠点がある. そのため、大学以降ではスカラーはそのまま、ベクトルは**太字**xまたは2重文字x(文字に余計な線を1つ入れるだけ)で表現する.よく,スカラーは大きさだけ持つ量で,ベクト ルは大きさと**向きも**持つ量と理解している人も多い. **それは何故か?**

$$A=2$$
 $B=(2 \ 1 \ 3)$

図 1: スカラー量 図 2: ベクトル量

スカラーのイメージは、1 次元である。 すなわち、x 軸だけの数直線を考えると単なる大きさに すぎない. 次にベクトルのイメージは、2次元や3次元である. x軸だけでは、大きさしか表せな かったのに対し、数を束にすることで2つ目以降の数によって方向が決まる.

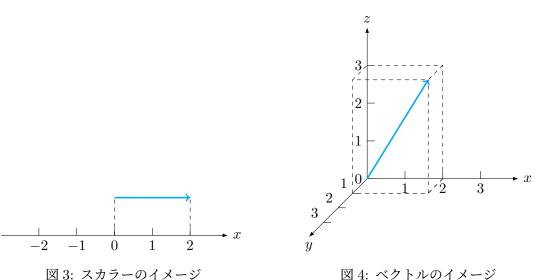


図 4: ベクトルのイメージ

簡単に説明すると,スカラーは **1 つの**数であり,ベクトルは**数と数の組***¹である.ベクトルは方 向を表すことから、基本的に**矢印**で表現することが多い. そのとき大きさは、矢印の**長さ**で表す.

^{*1} 厳密には,線形空間の元であるが,それは大学以降での話.多項式もベクトル,関数もベクトル,微分方程式の解も ベクトルとして捉えられる。これらのように、この世界にはベクトルでありふれている!

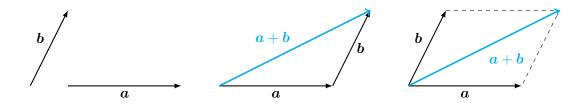
また, それぞれの量のことを表現するとき, それぞれに名前を付けて**スカラー量**, **ベクトル量**という.

1.1 ベクトルの加減法

スカラーはそのまま加減乗除できるが、ベクトルはそう上手くいかない。ベクトルの乗法には**内 積と外積**の 2 種類あり、除法はできない。分かりやすい加減法から説明する。

言葉で説明するなら、矢印の終点ともう一方の矢印の始点を合わせ、1 つの折れ線矢印と見なして始点と終点を線で結ぶ。減法の場合は、矢印を逆にしてから足す。矢印が逆のベクトルを**逆ベクトル**という。

ほかに始点同士を揃えて平行四辺形にする方法もあり、運動方程式を解く際の分力を求めるとき に最適である.



1.2 単位ベクトル

ユークリッド空間(実数を n 個並べた全体の集合)において、3 つの直交座標をそれぞれ x 軸、y 軸、z 軸とする.そのなかで大きさを「1」に仕立てたベクトルを単位ベクトルという.(単位〇〇は基本的に、〇〇の大きさを「1」に仕立てたもののことである.)

また、x 軸と平行な単位ベクトルを i、y 軸と平行な単位ベクトルを j、z 軸と平行な単位ベクトルを k とする.

1.3 ベクトルの成分表示

単位ベクトルと係数倍を用いて,一般にベクトルを次のような式で表せる.

$$\boldsymbol{a} = A\boldsymbol{i} + B\boldsymbol{j} + C\boldsymbol{k} \tag{1}$$

また、係数を座標のように表して、

$$\boldsymbol{a} = (A \quad B \quad C) \tag{2}$$

とも表せる.